



# さかきっ子

## 学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい

『さかきっ子』の育成」

## 《育てたい力》

考える力

協働する力

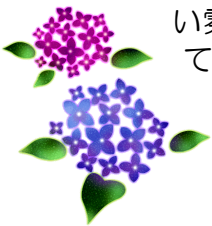
がんばり抜く力

## 6月「心のきずなを深める月間 子どもたちの笑顔と安心のために」

6月は熊本県において「心のきずなを深める月間～いじめを許さない学校・学級を目指して～」です。二小でも、「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指した取組をおこなう予定です。

- ①子どもたちへ心のアンケートと教育相談
- ②情報モラル研修
- ③人権学習旬間
- ④職員による見つめる会

いじめは、誰にどのように起こるか予測がつかず、誰にでも起こりうるものです。困ったことがあったとき、SOSの出し方を知っていますか？学校では、いじめを許さない学校・学級づくりと同時に、人間関係や相談しやすい雰囲気づくりを学校一体となって進めているところです。お子さまの様子など気になることがありましたら、遠慮なく、担任又は校長等までご相談ください。



## 国家公務員初任行政職の学校見学 互いに学びのある見学になりました

5月30日に本校に見学に来られたのは、4人の国家公務員初任者の方でした。外務省、財務省、農林水産省、国土交通省で本年度から任用された方々です。地方自治体である南関町の見学場所の一つとして二小の見学（2校時目の授業見学）でした。6年生は社会科の授業の中で国の仕事を学習し、各省庁の仕事をまとめていました。そこで、代表者が見学者に質問してもらいました。「仕事の中で大変だったことは？」「アフリカで氷がつかない開催は可能か？」子どもたちは、国の仕事をしている職員の「生



の声を真剣に聴いていました。6年生の聞く態度も素晴らしかったですが、子ども相手であろうと、真剣に考えわかりやすく自分の

考えを即座に答えた国家公務員の人柄や表現力はさすがだと感心しました。見学者の感想として「学ぶ心を忘れずにこれから努力しよう」「率先して手を挙げ主体的に授業に参加されていてその元気な姿勢にエネルギーをもらった。(略)地域に愛着をもち、自分で考えて行動できる次世代を育てることは、企業誘致や定住を促すことと同じくらい、町の未来への大きな投資になるのではないだろうか」などがあり、見学者にとっても、子どもにとっても、私たち教職員にとっても、またとない経験になりました。

私のモットーの一つ「簡単なことはより深く、難しいことはより簡単に考え説明すべし」にぴったりでした。6年生にもこの交流を機に、本物に触れることのよさや国際的な視野をもつことを意欲的にやってほしいと思いました。

僕は、国土交通省に勤めていて、建物に関連することはすべて国土交通省の担当です。



## 2つの訓練がありました

### 「引き渡し訓練」「不審者対応訓練」

引き渡し訓練では、各ご家庭の方々にご協力いただき、昨年以上にスムーズに進めることができました。



災害が起こらないことを願っていますが、いつ起こるかわからないのが災害です。避難指示が出た時にすぐに持ち出せる「避難袋」の用意、連絡が取れなくなったときに集まる家族の「避難場所」の打ち合わせ、家の周りや通学路の「危険な場所」の確認など、早目の対策をお願いします。

不審者対応の講話も行いました。「いか・の・お・す・し」を守って、自分の身は自分で守ることを意識してほしいと思います。

## 学校運営協議会（5月24日）

5人の学校運営協議会委員の方々、松本教育委員を本校にお迎えし、第1回の会議を開催しました。授業参観後、委任状を交付し、校長による学校経営方針の説明、承認、最後に意見交換を行いました。お世話になります。

